

第4学年 国語科学習指導案

児童 4年3組 男14名 女14名
指導者 藤野高嗣

目的をはっきりさせて、調査報告「城南生活白書」を作ろう

中心学習材「生活を見つめて」（光村図書4年下）

<育てたい主となる能力>

◎書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。（書ウ）

<主となる言語活動>

◎調べてまとめたことを知らせるために、自分の考えが明確になるような調査活動を行うとともに、論理的な調査報告文を書く。

1 子どもと単元について

(1) 学習者観

子どもたちは、これまでに4年生の「書くこと」の学習として、「新聞記者になろう」で身近な出来事取材して伝えたいことが明確な新聞記事にするという言語活動を行った。ここでは、正しく情報を伝えるために必要な要素（5W1Hを忘れずに書くこと、数や名前を正確に書くこと、取材先を明記すること）を学び、新聞を書く際には、それらの要素を意識して書く経験をしてきている。また、「手紙を書く」「お礼状を書こう」の学習では、手紙文の構成について学び、相手意識や目的意識を明確にもち、自分の感謝の気持ちや感想を文章に書く力を身に付けた。その他の「書くこと」の活動としては、条件作文を継続的に行っており、段落数や字数などの決められた条件に沿って、段落相互の関係を考え文章を書く力を付けてきている。

これらの言語活動を通して、子どもたちは日常の出来事から題材を見付け、伝えたい相手や目的を意識して、出来事や事柄を正確に伝える文章や記事を書いたり、内容のまとまりとしての「段落」の役割について意識して文章を書いたりすることができるようになってきている。本単元はアンケートを取材方法の中心にするが、結果や分かったこと、考察が明らかになる報告文にするために、アンケート作成の仕方も身に付けていきたい。

(2) 学習材観

本単元「目的をはっきりさせて、調査報告『城南生活白書』を作ろう」は、自分たちの生活を見直すために、疑問に思ったことを調べ、その結果から分かったことや考えたことが読み手に分かりやすく伝わるよう、自分の考えが明確になるよう構成を考えながら論理的な調査報告文を書くことをねらいとしている。

本学習材「生活を見つめて」は、客観的データ結果を初歩的な調査報告文にまとめる言語活動を行う内容となっている。分かったことや考えたことを「考察」として事実に加えた文章を書くことで、5年生の「意見文を書く」学習の基礎を養う学習でもある。調査報告文のモデルとして『四年一組の読書生活』が取り上げられているが、この文章を通して「テーマ→テーマ設定の理由→調べたこと→調べ方→調べて分かったこと→自分の考え」という論理的な構成について学ぶことができる。自分が記述する際のよりどころにもなる。さらに、コラム「表やグラフにまとめる」は、よりよい結果のまとめ方を自分なりに考える資料にもなっている。本教材は、取材から記述までの道筋がはっきりとしており、初めて調査報告文を書く児童にとって、適切な学習材と言える。

(3) 学習指導観

指導に当たっては、以下の点に留意していく。

第1次では、既習の文章様式について振り返り、本単元で学習する「調査報告文」との共通点、相違点をモデルにより明らかにしながら、文章構成や記述の仕方についての学習の見通しをもつことができるようにする。記述の仕方については、各段落の書き出しの表現や文末表現について理解し、実際に調査報告文を書くとき活用できるようにする。

第2次では、調査するテーマを決定し、アンケートやインタビューなど自分のテーマに合わせて効果的な方法を考えながら調査できるようにする。また、調査した結果を分かりやすく説明できるように、表やグラフなどの資料を工夫して作成できるようにする。

第3次では、学習した調査報告文の書き方を生かし、実際に各自が調査報告文を書く。その際、書こうとすることの中心をはっきりさせられるよう、初め…「テーマ」「テーマ設定の理由」、中…「調べたこと」「調

べ方」「調べて分かったこと」、終わり…「自分の考え」を区別して書くことができるように、組立て表を作って文章を書くようにする。更に、第1次で学習した記述の仕方も活用して書くことができるようにしたい。

第4次では、調査報告会を開いて、自分たちの生活を見つめ直すことができるようにする。更に、調査したことを学年や学校、近隣の学校等へ発信することで、報告することの意義や楽しさを実感できるようにしていきたい。

(4) 教科等の学習や日常生活への活用例

- ・ テーマを設定し、写真・地図・グラフなどの資料から分かったことや考えたことを基にして紹介パンフレットを作る。
(社会)
- ・ 体験活動で、体験報告文を書いたり、自分たちが調べたことを調査報告文に書いたりして交流する。
(総合的な学習の時間)

2 学習指導目標及び評価規準

	学習指導目標	評価規準
国語への関心・意欲・態度	◎毎日の生活の中で疑問に思うことについて調べ、調べたことを分かりやすく伝える調査報告文を書くこととする。	・自分たちの生活を見直すために、日常生活の中から疑問に思うことを調べ、結果を基に、分かったことや考えたことを調査報告文に書くとしている。
書く能力	◎文章の「初め・中・終わり」という構成に応じて、書く内容を考えて書くことができる。 (書 ウ) ○書く必要がある事柄について、調べる項目を明らかにして調査することができる。 (書 イ)	・生活の中で疑問に思うことについて調査し、調査した内容、分かったことや考えたことが伝わるように「初め・中・終わり」という構成を考えて調査報告文を書いている。 ・生活を見直すために、日常生活における問題について工夫した方法で調べている。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○文章全体における段落の役割を理解することができる。 (言オ (イ))	・意味のまとまりの段落が、文章全体の意味を組み立てていることを理解している。

3 学習指導計画（全14時間）

【主な段階】

【主な学習活動】

【主な活用】

特別活動

学級会で学校生活の改善点を話し合う。

第1次

調査報告文を書くという単元の見通しをもち、その書き方を理解する。
(2時間)

- ① 教科書のモデル文を読んで調査報告文の書き方を知る。
 - ② 調べたことを調査報告文に書く計画を立てる。
- <評価> _____
- ① 調べたことを報告する文章（調査報告文）の書き方の特徴を理解している。 《発言・ノート》
 - ② 調べたことを調査報告文に書く計画を立てている。 《ノート》

「新聞記者になろう」の学習で学んだ新聞記事の文章構成の仕方を活用して、自分の考えが明確になる調査報告文の書き方を学ぶ。

第2次

調査テーマを決めて、それぞれの課題について調査する。
(6時間)

- ③④⑤⑥ 自分が調べたいテーマを決めて調査する。
 - ⑦⑧ 調査したことを整理し、見やすい資料作る。
- <評価> _____
- ③④⑤⑥ 調査報告する内容にふさわしいか考え、自分の課題を決めている。 《ノート》
 - ⑦⑧ 調査結果を分かりやすくまとめた表やグラフなどの資料を工夫して作成している。 《アンケート・グラフ・調査用紙》

第3次

組立て表を基にして調査報告文を書く。
(4時間)

- ⑨ 調査報告文の構成を考え、調査したことを整理しながら組立て表を作る。
 - ⑩⑪ 組立て表を基にして、調査報告文を書く。(本時)
 - ⑫ 書いた調査報告文を読み合せて推敲し、清書する。
- <評価> _____
- ⑨ 調査報告文の構成を考えて、組立て表を作成している。 《組立て表》
 - ⑩⑪ 段落と段落の続き方に注意して「テーマ」「テーマ設定の理由」「調べたこと」「調べ方」「調べて分かったこと」「自分の考え」を区別して書いている。 《組立て表・調査報告文》
 - ⑫ 文章を読み合い、誤字・脱字・段落と段落の続き方・観点に沿っているかなどを確かめながら、より分かりやすい文章に直している。 《組立て表・調査報告文》

第1次で学んだ文章構成、記述の仕方（段落の書き出しや文末表現）を活用して、調査報告文を書く。

第4次

調査報告会を開いて感想や意見を交流し、学習のまとめをする。
(2時間)

- ⑫ グループで報告の仕方を考え、練習する。
 - ⑬ 調査結果を報告し合い、感想や意見を書いて交流する。
- <評価> _____
- ⑫ グループとして伝えたいことが効果的に伝わる発表構成を考えている。 《発表》
 - ⑬ 調査報告会から、自分たちの生活を見つめ直そうとしている。 《発言・感想カード・ノート》

特別活動

代表委員会で「城南生活白書」を提案する。

4 本時の指導

(1) ねらい

各段落の内容の中心をはっきりさせ、理由や事例を挙げたり分かりやすく説明したりして調査報告文を書くことができる。

(2) 既習の知識・技能を活用する言語活動

第1次の学習で学んだ文章の記述の仕方の知識・技能（段落の書き出し、文末表現）を生かし、調査報告文を書く。

(3) 展開

段階	学習活動・学習内容	形態	指導上の留意点
つかむ	<p>1 本時の学習課題を確認する。 (2分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>書こうとすることをはっきりさせて、調査報告文を書こう。</p> </div> <p>2 課題解決の見通しもつ。 (8分)</p> <p>段落の書き出し</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「…結果は～」 ・「…その結果～が分かりました。」 ・「…なぜかという～」 ・「…その理由は～」 ・「～のためである。」 ・「…例えば～」 ・「…事例を挙げると～」 ・「～などが当たる。」 </div> <p>文末表現</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「これらのことから、～」 ・「～と考えました。」 ・「～と思います。」 </div>	全	<p>○前時に組立て表を基にして、初めの「テーマ」「テーマ設定の理由」、中の「調べたこと」「調べ方」を区別して書いたことを想起させ、本時は、中の「調べて分かったこと」、終わりの「自分の考え」も区別して書くという課題意識をもつことができるようにする。</p> <p>『調べて分かった事』を書く時、どんなことに気を付けて書けばよいでしょう。』</p> <p>○第1次で学習したことを想起させ、段落の書き出しや文末表現に気を付けることを意識しながら、既習事項を活用できるようにする。</p> <p>『自分の考え』を書く時、どんなことに気を付けて書けばよいでしょう。』</p> <p>○第1次で学習した、「自分の考え」を書くときの書き出しや文末表現を活用して文章に書くことができるようにする。</p>
調査報告文を書く	<p>3 学習課題を解決する。 (1) グラフなどの資料を使って、「調べて分かったこと」を書く。 (10分)</p> <p>(2) 「自分の考え」を書く。 (10分)</p>	個	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><評価></p> <p>A各段落の内容の中心をはっきりさせ、理由や事例を複数挙げたり分かりやすく説明したりして調査報告文を書き、書き終えたら読み返して直している。</p> <p>B各段落の内容の中心をはっきりさせ、理由や事例を挙げたり分かりやすく説明したりして調査報告文を書いている。</p> <p>Cへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段落の書き出しや説明の仕方を具体的に示したり助言したりする。 <p style="text-align: right;"><調査報告文></p> </div>

	(3) 調査報告文を読み合い、よいところを交流する。 (5分)		○調査報告文の構成や文章の書き出しや文末表現がよいと思われる児童の作品を提示し、そのよさを確かめることができるようにする。
ま と め る	4 学習を振り返る。 (1) 自己評価する。 (5分)	個	○今日の学習を振り返り、自己評価をして自分の頑張りや学習の成果を実感し、成就感をもつことができるようにする。
	自己評価の観点 ・できたこと。 ・できるようになったこと。	全	
	(2) 振り返りを交流する。 (3分)	全	○本時のねらいにかかわる評価をしている子どもを意図的に指名し、価値付けを図る。
	5 次時の学習内容を確認する。 (2分)	全	○学習計画を示しながら、次時は文章を推敲し、清書することを確認し、意欲や見通しをもたせる。